

『甲賀市史』第1巻「古代の甲賀」目次

刊行のことば

凡 例

序 章 自然と地理

第一節 甲賀市の自然的環境

甲賀市の位置と地形 甲賀市の気候

第二節 甲賀市の地理的環境

甲賀郡から甲賀市へ 甲賀市の人文地理 甲賀市の産業 甲賀市の交通

第一章 原始時代の甲賀

概 説

第一節 甲賀の地史

第一項 甲賀市の地質の概要

甲賀の地史をひもとく

第二項 山地をつくる硬い岩

海底にできた古くて硬い地層 マグマがつくった硬い岩 山地の地下資源

第三項 海がつくった鮎河層群

県内唯一・中新世の海成層 化石で探る海辺の変遷 鮎河層群をつくった海

第四項 太古の琵琶湖にたまった地層

古琵琶湖層群とは 琵琶湖の移り変わり 古琵琶湖層群と暮らし

第二節 野洲川流域のあけぼの

縄文・弥生時代の甲賀 縄文・弥生時代の暮らしと文化

道具から見た生活 祈りと祭り

第三節 古墳と豪族

前方後円墳の導入と近江の王たち 倭の五王時代の甲賀

屯倉と部民の成立 甲賀臣氏と甲賀群集墳

第二章 神話から歴史へ

概 説

第一節 甲賀と近江の神話・伝説

鈴鹿姫の伝説 近江の神話

第二節 鹿深臣氏の動向

近江の古代豪族の世界 甲賀郡の古墳文化と首長

甲賀郡の古代氏族と甲賀臣氏

第三節 壬申の乱と甲賀

古代王権と近江 白村江の戦いと近江遷都 壬申の乱と近江

第四節 杣山と川津

甲賀杣と甲賀山作所 甲賀山作所残材の搬出

甲賀山作所と三雲川津の様相 甲賀山作所と矢川津

第三章 紫香樂宮の時代

概 説

第一節 聖武天皇と紫香樂宮

第一項 紫香樂宮と都城制

恭仁京と紫香樂宮の造営 紫香樂宮と甲賀宮 紫香樂宮の発掘
盧舎那仏造立の背景と甲賀宮遷都

第二項 聖武天皇の夢

紫香樂への道程 大仏造立の構想 荒れにし都

第二節 大仏造立と甲賀

仏教の国家的受容とその意義 大仏造立に至る過程

第三節 紫香樂宮の遺跡

聖武天皇の彷徨 紫香樂宮の関連遺跡

第四節 条里制の施行

条里制とは 甲賀郡条里の研究方法与視点 水口平野の条里
杣川流域と野洲川上流域の条里 信楽地域の方格地割

第四章 平安時代の甲賀

概 説

第一節 平安京と甲賀

第一項 王朝の甲賀

齋王の道 莊園の発達 王朝の甲賀

第二項 水口丘陵の緑釉陶器生産

近江と甲賀の緑釉陶器 新しい発見と展望

第二節 東海道の往還

古代東海道の変遷 延喜官道と甲賀

第三節 鈴鹿峠と「山賊」

出没する山賊 蟹坂(かにがさか)の物語 田村麻呂伝説の世界

第四節 仏教文化の繁栄

第一項 寺院と仏教文化

天台宗の浸透と甲賀 伝えられた至宝 仏教文化の受容と伝承

第二項 甲賀谷の仏たち

八～九世紀の仏教美術 十～十一世紀前半の彫刻 定朝以後の甲賀彫刻

第五節 神祇信仰と神社

飛鳥・奈良時代までの神祇信仰 平安時代の神祇信仰
近江甲賀の式内社と国史現在社

巻末付録 編さん委員・編集委員 協力者 執筆者・執筆分担

索引 参考文献一覧 図・表・写真一覧 口絵解説 略年表

付図 甲賀市地質図